

ワッツあす17年ホーム初戦

選手、勝利へ意気込み

本社訪問

バスケットボール男子Bリーグ2部の青森ワッツの選手ら5人が19日、八戸市のデーリー東北新聞社を訪れ、21、22日に市東体育館

で開かれる信州ブレイブウオリアーズとのホーム戦に向けて意気込みを語った。下山貴裕(八戸西高出)、橋本龍弥(八戸工高出)、野里惇貴(八戸学院大)の3選手と、チームを運営する青森スポーツクリエイションの下山保則社長らが来社。本社の荒瀬潔社長らと懇談した。

2017年最初のホーム戦となる信州戦は、本社が全面バックアップ。橋本は「泥くさいプレーでチームに貢献したい」、野里は「地元で恩返しができるよう、いい姿を見せたい」とそれぞれ抱負を語った。

22日の試合前には八戸工高と八戸西高のエキシビジョンゲームを開催(午前11時25分開始予定)。下山貴と橋本がアシスタントコーチとしてそれぞれの出身校をサポートする。下山貴は「恩師である越秀昭教諭が率いる八戸工に勝てるように頑張りたい。エキシビジョンを楽しんでもらいながら本戦を応援してほしい」と笑

顔で語った。

(玉川那津美)